

授業科目名	人間教育学ゼミナール（応用）(2100310)		
時間割名	人間教育学ゼミナール（応用）(25106)		
時間割担当	渡邊規矩郎		
実施期	通年	単位数	4 選択
曜日・時限	火・5		

授業の目標・概要

卒業研究に向けて論文や制作活動を行う。自らの専門分野についての研究をまとめ、形にすることによって、自らの人間教育学に関する学びの集大成とする。

学習の到達目標

- ・主体的に取り組む研究過程を通して、研究の科学的アプローチを理解し、研究的な態度を習得する。
- ・人間教育学において明確にし解決すべき現象・問題・疑問事項、すなわち研究課題を明らかにする。
- ・研究課題を絞り込み、研究目的を明らかにする。
- ・研究目的にそって研究計画をたてる。
- ・研究計画にそってデータを収集し、分析を行う。
- ・研究によって得られた知見をまとめ、論文および抄録を作成し、口頭発表を行う。

授業方法・形式

個人研究（または共同研究）に対する個別指導を中心とし、予備演習や経過報告、発表会を適宜行う。

授業計画

- 第1週 研究テーマの説明 研究室の研究テーマ、卒業研究課題候補を提示する
- 第2週 研究の進め方 選択したテーマに沿って研究方法等を検討し、研究目的、研究方法を各自プレゼンテーションする（論議、指導などを含む）
- 第3週～第14週 卒業研究? 研究計画を作成し、研究を進める（関係論文・専門書輪読、論議、教員の指導などを含む）
- 第15週 中間検討? 研究室内で卒業研究の進捗状況、今後の課題などをプレゼンテーションし、論議する（3年次学生も含む）
- 第16週～第22週 卒業研究 卒業論文とりまとめを念頭に計画を作成し、研究を進める（関係論文・専門書輪読、論議、教員の指導などを含む）
- 第23週 中間検討 卒業論文のとりまとめにむけて研究室内で卒業研究の進捗状況をプレゼンテーションする
- 第24週～第28週 卒業論文のとりまとめ 卒業論文作成指導、プレゼンテーション指導、報告要旨集作成など
- 第29週～第30週 研究成果の発表（全研究室の参加）

成績評価の基準

提出された卒業論文の研究経過と内容、論文作成能力、発表能力、出席回数などにより、総合的に評価する。

授業時間外の課題

卒業研究は授業時間以外にも積極的に遂行する。

メッセージ

4年間の修学の集大成として研究論文を作成するために日々努力してください。研究することの喜びや楽しさを感じてほしい。

教材・教科書

必要な文献、マニュアル等の資料を指導教員より提示する。

参考書

関係行政機関・研究機関・企業、大学図書館・国立国会図書館等、またウェブサイトなどを利用して収集し、情報収集力を高める。